

国リハと就労支援センターとの 連携について

ところざわ就労支援センター

ところざわ就労支援センターの状況

平成10年に開設
市内の障害者対象

(平成25年8月末現在)

	全 体	身体障害者	知的障害者	精神障害者	その他
登録者	586	68	314	168	36
就職者	334	30	208	72	24

高次脳機能障害の人について

- 特性がよくわからない
- 支援の方法は？

- 実際の訓練を見学して特性や支援方法を理解することを試みる

見学をしてみても…

- 就労意欲のある人は多い(受傷前のイメージも?)
- 障害認識には個人差がかなりある
- スタッフが充実している きめ細かい支援が可能

- そして中には就労できる力を持っている人も
いることがわかる
- 定期的に連絡を取り合いながら情報交換をし
ていく

情報交換の中で

- 失語症だが就労意欲のととても高い人がいるので見に来てほしい
- 見学に行った際に畑の作業をしていたが、上木の剪定をしている姿がととても力強く印象に残る
- 運動機能には全く問題がなく、まじめな態度
- しかし障害認識は乏しい
- 言葉は出ないが、目やジェスチャーでコミュニケーションをとることができる

- 作業系で行けるのではないか？
- まずは現場実習で働く体験をする
- 市内にある就労継続B型事業所にて4日間午前中の実習を計画
- 通勤経路の確認、練習を行う
- 作業内容は野菜の袋詰め(立ち作業)

実習をやってみて

- 通勤は可能
- 野菜の袋詰めは最初は少しむずかしかったが慣れれば問題なくできていた
- 作業態度はとても良い
- 集中しすぎて若干疲れが見えた・・・障害認識のズレ(自分はもっと働けると思っていた)に気付く

- 十分に就労は可能であると判断
- 就労先を探すことに

- 市内の事業所から直接センターに求人の情報が入る
- 段ボールの折り作業
- パートさんが片手間にやっていた作業なので最初からノルマはない
- 本人を連れて見学し、実習をやることに



- 実習を1週間行ったが、日ごとに数が増えていった
- 引きつづき1週間の実習を継続
- 会社としては 作業スキルも問題ない
- コミュニケーションも 本人から積極的に挨拶を行うなど好印象



雇用契約に至る

- 週5日 9:00~15:00 の勤務
- 週25時間 雇用保険のみ加入
- 雇用の前に関係者で集まり支援体制の確認と役割分担について共有
- 会社の理解もあり今日も元気にお仕事中！

成功に至った理由

- 会社の理解 障害者雇用の経験があった
- 経営者が障害ではなく、本人を見て採用してくれた
- 本人の障害と仕事の内容がマッチした
- 支援体制をきちんと整えることができた
- 家族が協力的であった